

超スマート社会の品質管理コンサルティング内容説明

当団体では PL やリコール、GS1 標準などの第一線で活躍する方々とのネットワークにより、国内のどこよりも早く最新の法律から技術基準、実際の取り組み状況などを得ることができ、事業者の皆様が最新の取り組みをする支援を行なっています。今年はずすでにご案内の通り、食品業界では「B2C デジタルトレーサビリティによるリコール対応」が大きな動きとして北米では6月から Kroger が、8月から世界最大手の Walmart がどちらも全食品の取引要件としてこのことを求めています。2026 年からは懲罰法の PL 法も大きく変わり、流通から小売りもその責任を問われます。流通小売ではすでに GS1 2D（グローバル標準の QR など）を利用し流通自動化と店内ロスをなくすことが進んでいます。最近セルフレジでその動向が皆様も体験されているかと思います。

- ✓ 国内では食品から薬、機械なども含め「自社内トレーサビリティ」が浸透、これを急いで世界が求める畑から食卓」に対応することがこの先の取引に大きく影響します。
- ✓ そのためにはまずは社内規定や体制整備の見直しが急務で、「前例主義」はことごとく失敗しています。
- ✓ 全ては未然防止という最も重要な目的を達成すること、それは単に生産時の問題だけでなく出荷後の自社製品の状況をモニタリングする、これが「B2C」トレーサビリティです。

1 内容について

- 電気、機械器具などは経済産業省の製品安全のチェックシートを利用します。
- 食品については法律規制の不透明な部分や改訂が進むと思われることなどを中心に確認作業を進めます。
- 3か月で、月2回以上のリモート会議で進めます。
 - (1) 取説や表示など指示警告に関する確認と改訂アドバイス
 - (2) 設計、製造の品質管理規程の確認と改訂アドバイス
 - (3) 販売出荷後の品質保証規程の確認と改訂アドバイス
 - (4) 国や海外で要求されるリコール実効性を中心に現在の製品（食品）トレーサビリティの評価と課題提示
 - (5) 品質異常発生時の判断や対応のアドバイス
 - (6) 保険や訴訟対応体制の確認
 - (7) 信頼性確保と効率化に向けたアドバイス
 - (8) 経営者向けのアドバイスなど

※内容については APL-Japan にて発行している書籍に準ずる

2 付随事項

- ① PL 検定合格し資格取得した方が居られればリーダーとして、いない場合は担当の方に契約締結後早急に PL 検定初級を受験していただきます。（費用別途）
- ② コンサルティングは担当を中心に行いますので、経営者は開始時にご挨拶させていただきますが、当方が訪問する場合は、交通費宿泊費を御社規定にてご負担いただきます。

3 費用・募集条件

申し込み時点の従業員数	コンサルティング費用（税込）
10 名未満	33 万円
10～100 名未満	66 万円
100 名以上	88 万円

- R7 年度の受付は 3 月 17 日（月）からとなります。
- 受付件数先着順で 20 社までです。
- 小規模事業者から大企業まで対応可能です。
- 準大手・大手企業の場合は別途ご相談承ります。
- 守秘義務契約は当方でも用意しておりますが御社の書式があればご提示ください。
- お申し込みとお支払いにより契約は成立します。費用のお支払い方法については事務局にご相談ください。
- このコンサルティングメニューは 1 年で行なっているものを 3 か月とし、まずは実態の確認とアドバイスとなります。
- 当団体で行なっているクラウドシステムの利用は別途契約となりますが、契約期間中にワークショップで出荷後の対応、リコールなどのテストで利用しますので実際に体験いただけます。

4 申し込み方法：下の申し込みフォームより「超スマート社会の品質管理コンサルティング」を選択、問い合わせ内容に「特に取り組みたいこと、課題など」をご記入ください。折り返し zoom による事前確認、相談の日程調整のご案内をお送ります。



申込フォーム

https://apl.or.jp/?page_id=19



一般社団法人 APL-Japan

<https://apl.or.jp>

【事務局】〒982-0823 宮城県仙台市太白区恵和町 35-28

TEL：050-6865-5180, FAX：022-247-8042 Email office@apl.or.jp

【本部】〒173-0013 東京都板橋区氷川町 47-4 アビタシオン K1